

37年ぶりの豪雪となった2月。皆さんの家庭や地域への影響はいかがだったでしょうか。県内全体が積雪と除雪の繰り返しで、心身ともに疲弊した数日間であったと思います。生徒・保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。また、大雪の際、休校等の連絡や対応でご不便をおかけしましたこと、お詫びいたします。

この極寒の中で、心温まるニュースが届きました。大雪で身動きが取れなくなった車を、本校生徒が救出してくれたとのことのお礼の電話を数々いただきました。中でも、乗車中の路線バスが動けなくなった折、近隣のお店からスコップ等を借りてバスの救出にあたった本校生徒もいたようです。大荒れの天候の中、自らが吹雪にさらされることをいとわず、人のために動くということは、なかなかできることではありません。そのような生徒の育成に、少なからず本校が携わっていただけることに誇りと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、温かみのある人を育成していけるよう、学校をあげて取り組んでいきたいと思えます。

また、3月は生徒諸君にとって『節目』となる時期です。新年度により良いスタートを切られるよう、今から準備をしていきましょう。  
(1年学年主任：谷口 智)

## 【生徒指導部より】

### ○今年度の登校状況を振り返って（2月現在）

[遅刻人数]

1年生 159人（うち不注意34人）

2年生 258人（うち不注意63人）

3年生 133人（うち不注意44人）

※H28年度：542人（うち不注意112人）

[交通事故件数]

1年生7件、2年生8件、3年生5件

※H28年度：20件

[携帯電話規定違反者件数]

1年生32件、2年生20件、3年生9件

※H28年度：52件

### ○生活習慣を大改造しましょう！

生活習慣の見直しは、やる気・成績・健康・進路に至るまで大きく影響します。定期考査中の遅刻は、皆無に近いです。それは、気持ちの問題、意識の問題の表れだと思えます。『基本的生活習慣の確立』を目標に過ごしましょう。

### ○自己有用感を高める！

自己有用感とは・・・自分の属する集団のなかで、自分がどれだけ大切な存在であるかということをも自分自身で認識すること。（他者から認められていると感じること。）

自己有用感とは、他者とのかかわりなしでは生まれない、いわば「社会性の基礎」となるものです。自己有用感が生まれ、その後自尊感情がふくらみ拡がって行く関係が重要です。



## 【伸びる生徒の特徴】

### 皆さんの生活と比較してみよう!!

1. 毎日学習する。
2. 授業では「板書マシン」になっていない。  
(ポイントをきちんとメモする！)
3. 読書の習慣が身についている。
4. 英語辞書をフル活用する。
5. 難しい問題も自力で解いている。  
(出来るかどうかではなく努力しているか)
6. 数学は復習をしっかりと取り組む。
7. 生活習慣がしっかりしている。  
3点固定(起床・就寝・自宅学習開始)
8. 最低7時間の睡眠時間確保。
9. バランスの良い食事。健康管理への配慮。
10. 将来の夢がある！ [ある進学雑誌より]



### 皆さんの家庭学習時間が足りません!!

各学年とコース毎の家庭学習時間の目標を知っていますか？ 目標を意識していますか？ 努力していますか？ 目標を越えている生徒はどのくらいいるのでしょうか？ 改めて目標数字を挙げますので、確認したその日から実践してください。

1年生 [S]	3時間	[特進]	2時間	
	[進学]	1.5時間	[スポーツ]	1時間
2年生 [S]	4時間	[特進]	3時間	
	[進学]	2時間	[スポーツ]	1.5時間